

(2) 国内における事例

1) 博覧会のレガシー施設の継承事例

魅力向上に向けた施設整備を進めている事例として、博覧会のレガシー施設を発展継承させる取組や、博覧会のコンセプトを継承するものとして、新たなモニュメントを設置している事例などが見られた。

愛・地球博記念公園・モリコロパーク

- 所在地 : 愛知県久手市茨ヶ廻間
- 面積 : 約192.2ha
- 年間利用者: 約157万人 (2014 (平成26) 年度)
- 公園管理者: 愛知県都市整備協会+愛知県公園協会による指定管理

●主な施設:
「サツキとメイの家」、愛・地球博記念館、地球市民交流センター、茶室と日本庭園、フィールドセンター、水泳場、アイススケート場、体育館等



出典: 愛・地球博記念公園HP



出典: 愛・地球博記念公園HP

◆公園の概要

- ・愛・地球博記念公園は、平成17 (2005) 年に「自然の叡智」をメインテーマに開催された「愛・地球博」の長久手会場跡地に整備された愛知県最大の面積を誇る広域公園である。
- ・映画の舞台を再現した「サツキとメイの家」は人気が高く、他にも、体験学習施設がある「地球市民交流センター」や、県の環境学習施設である「フィールドセンター・もりの学舎」、日本庭園、各種スポーツ施設など、多様な施設が整備されている。

◆事例のポイント

- ・博覧会ときに整備された「サツキとメイの家」を発展継承し、公園の各所にジブリ作品にちなんだ魅力施設を整備したうえで、全体を「(仮称) ジブリパーク」とすることが計画されている。愛知県とスタジオジブリの協働により、2022年度中の開業をめざしている。花博開催時の施設を活用して、特定のテーマに関するユニークなアイデアによる施設整備により、公園の魅力向上につながる事業が計画されている。
- ・愛・地球博記念館は、会期中は迎賓館・レセプションホールであった建物を活用したものである。館内では、博覧会当時の寄贈品や映像などが展示されており、博覧会の理念を継承する場として、また多様な文化を学ぶ施設として活用されている。



出典: 愛知県HP

科学万博記念公園

- 所在地 : 茨城県つくば市御幸が丘
- 面積 : 約5.9ha
- 公園管理者 : 筑波都市整備株式会社による指定管理
- 主な施設 : 科学の門 (モニュメント)、芝生広場、池、アヤメ園、全天候型テニスコート (5面)



科学の門



万博当時のシンボルタワー

出典：つくば市公園・施設課提供 出典：国際科学技術博覧会公式記録



出典：地理院地図

◆公園の概要

- ・科学万博記念公園は、昭和60 (1985) 年に「人間・居住・環境と科学技術」をテーマとして開催された「国際科学技術博覧会 (つくば万博、つくば科学万博) のメイン会場Dブロック跡地に整備された近隣公園である。
- ・園内には、公園のシンボルである「科学の門」のほか、芝生広場や池、アヤメ園、テニスコートなどがある。

◆事例のポイント

- ・「科学の門」は、万博閉幕後に建てられたもので、高さは約10mである。当時の政府テーマ館にあったシンボルタワーをモチーフとして、約4分の1の大きさに縮小して建てられた。見る角度によって歴史に残る4人の科学者の顔が浮かび上がる仕組みになっており、公園のシンボルとなっている。また、科学の門の地面には、万博当時の会場図が描かれている。博覧会の施設を撤去し、公園として整備するにあたり、博覧会のテーマや記憶を継承する新たな施設を整備している。

2) 公園への収益還元事例

公園施設による収益を、公園の魅力向上に還元する仕組みの事例として、以下のようなものがみられる。

台東区立隅田公園

- 所在地 : 東京都台東区花川戸
- 面積 : 約11ha
- 公園管理者 : 台東区
- 主な施設 : 野球場、スポーツセンター、少年野球場、梅園、桜の広場、展望広場、リバーサイドギャラリー、子どもの遊び場、水上バス乗り場、休憩所、カフェ、公園管理事務所



出典：台東区HP



出典：地理院地図

◆公園の概要

- ・隅田公園は、東京都の隅田川の両岸にまたがる公園で、大正12 (1923) 年の関東大震災後の復興事業の一環として整備された。桜の名所として有名であり、夏の隅田川花火大会の場所としても知られる。

◆事例のポイント

- ・2012 (平成24) 年に、年間を通して継続的な賑わいを創出することなどを目的として、水辺空間を活用したオープンカフェを設置することとなり、出店事業者の募集が行われた。
- ・オープンカフェの出店にあたり、売上の1%を下限とした「地域還元費用」を、事業者が提案することが募集条件とされた。カフェの出店後は、この地域還元費用を活用して、カフェ店舗内での「パスタ体験」、店舗横テラスでの「絶景ビアテラス」などのプログラムが実施されており、公園施設の収益を地域還元費としてプログラム実施に充てることにより、公園の魅力づくりに還元されている。

安満遺跡公園

- 所在地 : 大阪府高槻市八丁畷町
- 面積 : 約22ha
- 公園管理者 : 安満遺跡公園パートナーズによる指定管理
- 年間利用者 : 100万人を目標
- 主な施設 :
旧京大農場管理棟、
芝生広場、全天候型屋内施設、
歴史拠点施設内レストラン、
ペットショップ、
体験型キャンプカフェ



出典 : 高槻市HP



出典 : 高槻市HP

◆公園の概要

- ・安満遺跡公園は、高槻市にあった京都大学の附属農場の跡地において整備が計画されている総合公園である。弥生時代の安満遺跡を保存・活用するとともに、防災機能を備えた公園とする計画で、2019（平成31）年に一次開園、2021年に全面開園する予定。
- ・隣接する防災公園街区事業敷地（約490m²）において、屋内外一体活用型の子どもの育成施設を整備する予定。
- ・民間施設導入エリアには、ペットサービスショップと体験型キャンプカフェを設置する予定で、事業者が決定している。カフェ事業者は、物品販売、店内展示、薪割り・焚き火・火起こしの体験、キャンプイベントや防災体験イベントの実施などを提案している。
- ・市民ボランティア団体が、公園の樹木や広場を活用した子ども向けの遊びイベントを実施している。

◆事例のポイント

- ・施設の設置・管理・占用許可に係る使用料は、指定管理者の収入に計上し、管理運営費に充てることとしており、施設運営による収益を、公園に再投資する仕組みとなっている。

3) 高品質な花の空間の創出事例

高品質な花の空間の創出に係る事例として、大規模な花の広場を整備するとともに、展望台を設けて、花の景観を楽しめる場を作っている事例がみられる。

国営備北丘陵公園

- 所在地 : 広島県庄原市三日市町
- 面積 : 約340ha
- 公園管理者 : 備北公園管理センターによる管理委託
- 主な施設 :
ビジターセンター、ひばの里、花の広場、大芝生広場、
野外ステージ、バーベキューコーナー、グランド・ゴルフ
フOCUS、サイクリングセンター、スイセンガーデン、
ドッグラン、オートキャンプ場



出典 : 国営備北丘陵公園HP



出典 : 国営備北丘陵公園HP

◆公園の概要

- ・国営備北丘陵公園は、広島県庄原市に位置する中国地方唯一の国営公園である。1995（平成7）年に供用開始し、2012（平成24）年に全面開園した。中国地方の明治初期の景観が再現された「ひばの里」、大芝生広場、花の広場、オートキャンプ場などの施設が整備されている。

◆事例のポイント

- ・花の広場では、1.5haの広場に季節ごとの花が植栽されている。花の景観を見下ろすことができる展望台も整備されており、一大観光スポットとなっている。花の広場と眺望スポットの整備が、公園の魅力創出に大きく寄与している。

4) 先端技術の活用事例

先端技術を活用した取組として、プロジェクションマッピングなどのデジタルアートや、自動運転などの新交通システムに係る取組がみられる。

徳島県文化の森総合公園「徳島県文化の森デジタルアート」

- 所在地 : 徳島県徳島市八万町
- 面積 : 約40.6ha
- 公園管理者 : (公財) 徳島県建設技術センターによる指定管理
- 主な施設 : 徳島県立図書館、徳島県立博物館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、徳島県立近代美術館、徳島県立文書館、徳島県立21世紀館、野外劇場、カスケード、知識の森、創造の森、県民の森



出典：徳島県文化の森総合公園HP



出典：地理院地図

◆公園の概要

- ・徳島県文化の森総合公園は、徳島県の置県100年を記念して整備された文化公園である。博物館、近代美術館、21世紀館、図書館、文書館、鳥居龍蔵記念博物館の6つの文化施設が集まっており、その周囲に「知識の森」、「創造の森」、「県民の森」という、施設と関連するテーマを持った森林や公園が広がっている。

◆事例のポイント

- ・最先端のデジタル技術を用いたアート作品の展示に取り組んでおり、2017（平成29）年3月より、プロジェクションマッピングにより滝と水の流れを表現した作品「文化の森に憑依する滝」の常設展示を行っている。
- ・2018（平成30）年4月から、「とくしまLED・デジタルアートフェスティバル」で展示されていたデジタルアート作品「呼応する木々」を文化の森総合公園に移設し、常設展示している。LEDにより木々をライトアップし、音とともに変化していく仕組みとなっている。
- ・同公園では、最先端のデジタルアート技術を活用した、公園の魅力アップが実現している。

豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)「自動運転実証実験」

- 所在地 : 愛知県豊橋市大岩町
- 面積 : 約39.6ha
- 公園管理者 : 公益財団法人豊橋みどりの協会による指定管理
- 主な施設 : 動物園、植物園、遊園地、自然史博物館



出典：豊橋市HP



出典：豊橋総合動植物公園HP

◆公園の概要

- ・豊橋総合動植物公園は、動物園、植物園、遊園地、自然史博物館の4ゾーンで構成されたレクリエーションと学びの施設であり、1992（平成4）年に開園した。動植物公園と自然史博物館が一体となった国公立の施設としては、日本唯一の施設である。

◆事例のポイント

- ・2018（平成30）年11月に、埼玉工業大学発のベンチャー企業との協働により、自動運転の車2台を同時に走らせる、全国初の実証実験が行われた。将来的な園内交通への導入も見据えて、企業や研究機関との協働による新交通システムの実証実験が進められている。

5) 特徴的な魅力施設の整備事例

特徴的な魅力施設の整備に係る事例として、設置許可による宿泊施設の整備の事例がみられる。

愛鷹運動公園「INN THE PARK」

- 所在地 : 静岡県沼津市足高
- 面積 : 約60.1ha (うち市営部分40.7ha)
- 公園管理者 : 株式会社日産クリエイティブサービス
(県営部分 (広域公園))
: 沼津市及び日産クリエイティブサービス
による指定管理 (市営部分)
- 主な施設 :
(県営) 野球場、陸上競技場、サブトラック、テニスコート
(市営) 自由広場



出典：INN THE PARK HP



出典：愛鷹広域公園HP

◆公園の概要

- ・愛鷹運動公園は、沼津市の北側に広がる愛鷹山麓の東名インター北西に位置する運動公園で、静岡県東部地域のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となっている。県営区域 (愛鷹広域公園) と市営区域よりなり、スポーツ施設としては、県営の野球場、陸上競技場、テニスコートなどが整備されている。

◆事例のポイント

- ・公園の近隣にある少年自然の家が、民間に貸し出されることとなり、公募により民間事業者が、複合宿泊施設「INN THE PARK」としてリニューアルを行った。さらに、INN THE PARKでは、愛鷹運動公園の敷地内に、設置許可により宿泊用のテントエリアの設置を行っている。公園の樹林内に、ドーム型のユニークな形状のテントが設置されており、人気を集めている。
- ・同事例では、公園内における特徴的な宿泊施設の整備により、公園の魅力向上に大きく貢献している。

(3) 再生可能エネルギー・クリーンエネルギーの活用や効率的なエネルギー活用のイメージ

花博の理念とともに大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の長期目標「2050年度に向けて大阪市域の温室効果ガス排出量80%削減（1990年度比）」を見据えた低炭素社会の実現に向けた取組が必要。

太陽光発電など現在の自然エネルギー技術のみならず、今後も進展しつづける技術革新や市の施策に沿って、水素エネルギーや蓄電池さらには現在開発実証段階のものを含め、時代に合った最先端技術を、環境・エネルギー分野における持続的な好循環を生み出す新たな仕組みとして導入し、その成果を発信していく。

◇ 園内施設をクリーンエネルギー利用のショーケースに

イメージ



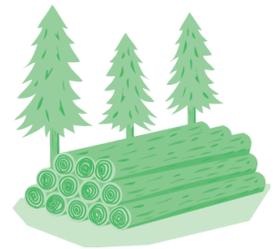
ソーラーシェアリング
(駐車場、バーベキュー場屋根など)
出典:資源エネルギー庁パンフレット



ハイブリッド街路灯
(太陽光&風力発電、LED照明、
非常用コンセント)
出典:NTN(株)HP



蓄電池



木質バイオマス



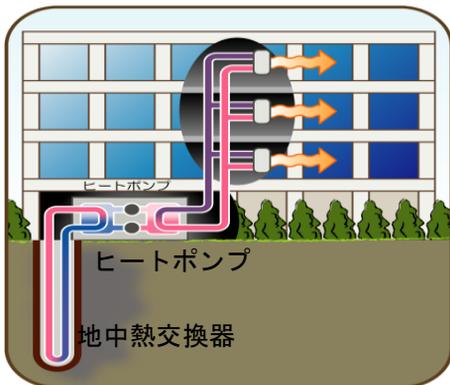
廃棄物発電・余熱利用
近接する鶴見焼却工場の活用の検討



地中熱利用・太陽光発電・蓄電池
(休憩施設、災害時避難所)
出典:資源エネルギー庁HP



EV・FCV
(公園内作業車・モビリティ)
出典:トヨタ自動車(株)HP



地中熱埋立処分場の
熱利用の可能性



電動・燃料電池ボート(遊覧船)
出典:資源エネルギー庁HP

■参考URL

- 1 大阪市の緑と公園についての市政モニターアンケート（2016（平成28）年1月 大阪市）
<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000359268.html>
- 2 運動とスポーツに関する意識調査 市政モニターアンケート（2017（平成29）年10月 大阪市）
<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000429353.html>
- 3 鶴見緑地再生・魅力向上計画策定に向けた市政モニターアンケート
（2018（平成30）年1月 大阪市）
<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000430576.html>
- 4 平成30年度第1回区民アンケート（2018（平成30）年6月 鶴見区役所総務課）
<http://www.city.osaka.lg.jp/tsurumi/page/0000456188.html>
- 5 鶴見緑地利用者アンケート（2018（平成30）年3月～6月 大阪市）
<http://www.city.osaka.lg.jp/tsurumi/page/0000460468.html>
- 6 花博記念公園鶴見緑地の活性化に向けたマーケットサウンディング
（2017（平成29）年8月 大阪市）
<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000410245.html>